

平成30年度 障害当事者部会の活動について

◆実施状況

第1回（平成30年6月25日）…会議形式

部会長及び副部会長の互選、平成30年度障害当事者部会の下命事項などについて、障害当事者部会を発足した経緯と目的について～高山会長からの報告・説明～、今後の障害当事者部会の活動目的や方向性について、今年度の文京総合福祉センター祭りの参加について

◆部会長及び副部会長の互選

互選により小和瀬委員が部会長に決定。部会長の指名により、天野委員、永野委員が副部会長に決定した。

◆内容

平成30年度障害当事者部会の下命事項などについて

- ・下命事項としては、「障害当事者からの情報発信を行うこと、また、障害理解を深めるための内容を検討し、区民に向けた啓発活動を行うこと」となっている。
- ・今までの部会で、様々な障害の特性について理解を深めて来た。また、津久井やまゆり園の事件や、視覚障害の方のホームから転落した事件を共有することで障害理解を深め、自分達に何ができるのかを考えて、部会内のみならず部会外の人にも分かってもらえるような活動を今後も行っていきたい。

障害当事者部会を発足した経緯と目的について～高山会長からの報告・説明～

2008年に文京区障害者地域自立支援協議会ができ、2013年に障害当事者部会が発足。2014年に締結された障害者権利条約（私たちのことを私たちぬきできめないで）が影響している。

今後の障害当事者部会の活動目的や方向性について

- ・A型福祉作業所を作りたい。まずは見学に行ってみてはどうだろうか。
- ・日頃の皆さんの困りごと、愚痴になるかもしれない話をしたいと思っている。
- ・皆で「困りごとを愚痴ろう」というのは、障害福祉計画の評価に繋がるのではないか。
- ・第5期計画の進捗状況の評価について説明。当事者の声をどのように障害福祉計画に反映させていけるかを考えていく。

今年度の文京総合福祉センター祭りの参加について

- ・まつり参加に関しては、障害当事者部会内ではなく、委員が自由に参加できるようにしていった方がよいと思う。この部会内の時間は、当事者部会としての話し合いをする時間に充てた方がよい。

まとめ

- ①外出 皆でどこかに出かけて、出かける中で町の中、バリアフリーの事やA型事業所の件などについて考えられるのではないかな。
- ②皆の生活の様子をお互いに分かり合いたいということで、生活の中の困りごとや愚痴を語り合い、それを障害福祉計画の評価に繋げていきたい。
- ③福祉センターまつりへの参加については、基幹相談支援センターの企画に参加する。